

東京の労働力

平成18年7～9月平均結果 -

「労働力調査」(総務省所管)の東京都分について、平成18年7～9月平均の集計結果を公表します。結果の概要は、次のとおりです。

東京都の完全失業率3.9%

- ・「平成9年10～12月平均」以来8年と3期ぶりに4%を割る
- ・3期連続全国水準を下回った
- ・前年同期に比べ0.6ポイント大幅低下

主な特徴 (表1、統計表第2表、統計表参考)

(労働力人口)

労働力人口は690万3千人で、前年同期に比べ11万2千人(1.6%)増加した。

- ・平成17年1～3月平均以来7期連続の増加となった。
- ・男性は6万9千人(1.7%)、女性は4万3千人(1.5%)、それぞれ増加した。

(就業者数)

就業者数は663万3千人で前年同期に比べ15万人(2.3%)増加した。

- ・男性は8万3千人(2.2%)、女性は6万7千人(2.5%)、それぞれ増加した。
- ・男性の5期連続に対し、女性は11期連続で増加した。

(完全失業者数)

完全失業者数は27万人で前年同期に比べ3万8千人(12.3%)減少した。

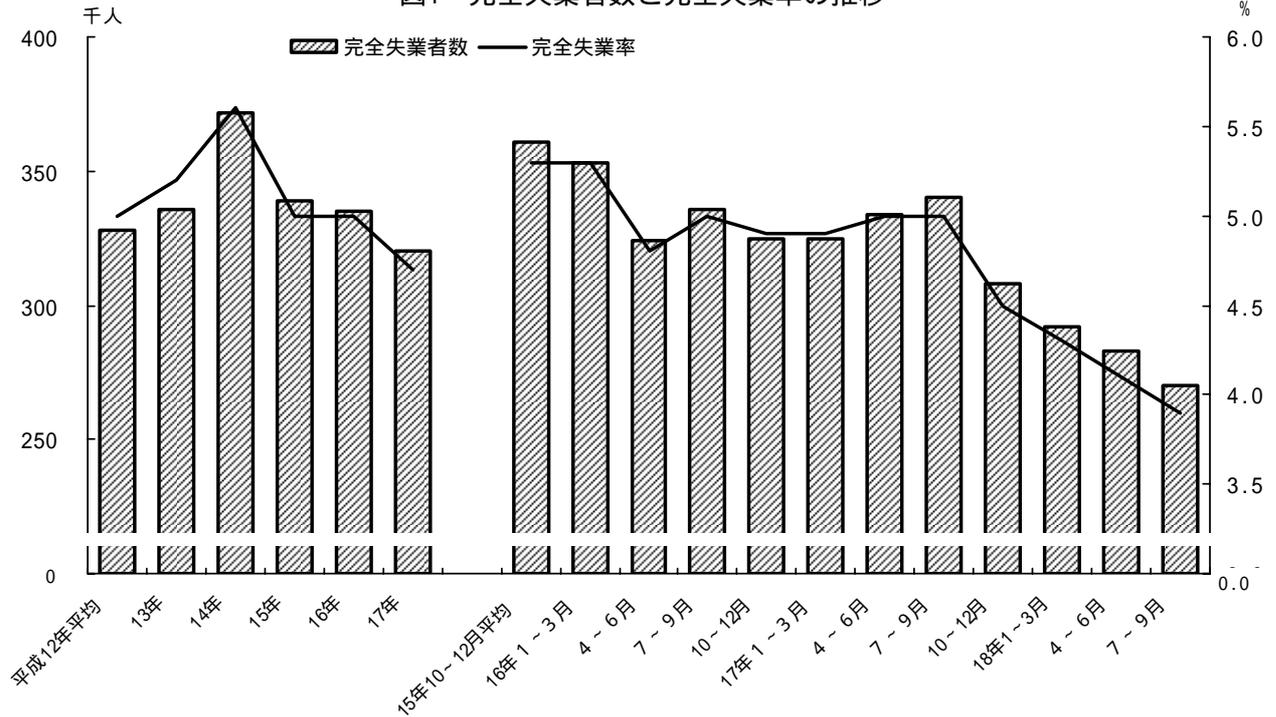
- ・男性は1万3千人(7.4%)、女性は2万4千人(18.0%)、それぞれ減少した。

(完全失業率)

完全失業率は3.9%で、前年同期に比べ0.6ポイントの大幅低下となった。

- ・「平成9年10～12月平均」以来8年と3期ぶりに4%を割った。
- ・3期連続全国水準を下回り、今期は差が0.2ポイントになった。
- ・男性は4.0%、女性は3.8%で、前年同期に比べ男性は0.4ポイント、女性は1.0ポイント、それぞれ低下した。

図1 完全失業者数と完全失業率の推移



1 労働力人口

労働力人口は690万3千人となり、前年同期に比べ11万2千人(1.6%)増加した。

平成17年1～3月平均以来7期連続の増加となった。

男女別にみると、男性は406万4千人、女性は283万9千人となり、前年同期に比べ男性は6万9千人(1.7%)、女性は4万3千人(1.5%)、それぞれ増加した。

(表1、統計表第2表 P8、P9)

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口

(単位 千人、ポイント、%)

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期					
				増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11 039	5 456	5 583	81	37	43	0.7	0.7	0.8
労働力人口	6 903	4 064	2 839	112	69	43	1.6	1.7	1.5
就業者数	6 633	3 902	2 730	150	83	67	2.3	2.2	2.5
完全失業者数	270	162	109	-38	-13	-24	-12.3	-7.4	-18.0
非労働力人口	4 125	1 387	2 737	-28	-31	2	-0.7	-2.2	0.1
完全失業率	3.9	4.0	3.8	-0.6	-0.4	-1.0			

2 就業者

(1) 就業者の推移

就業者数は663万3千人となり、前年同期に比べ15万人(2.3%)増加した。

男女別にみると、男性は390万2千人、女性は273万人であり、前年同期に比べ、男性は8万3千人(2.2%)、女性は6万7千人(2.5%)、それぞれ増加した。

男性の5期連続の増加に対し、女性は11期連続で増加した。

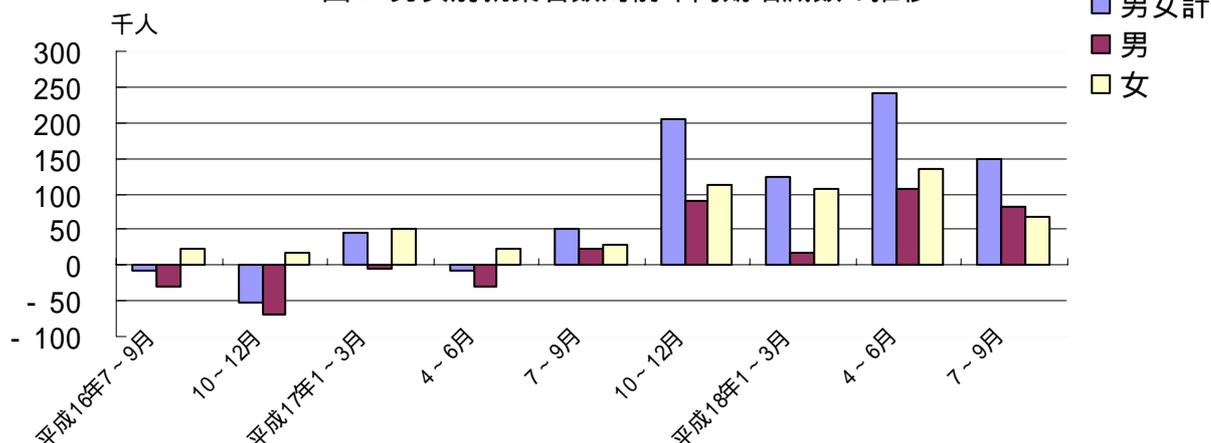
(表1、表2、図2、統計表第2表 P8、P9)

表2 男女別就業者数の推移

(単位 千人)

就業者数		16年		17年				18年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	6431	6356	6348	6419	6483	6560	6473	6660	6633
	男	3796	3795	3821	3832	3819	3886	3839	3938	3902
	女	2634	2561	2527	2587	2663	2674	2634	2722	2730
対前年同期増減数	男女計	-8	-52	46	-9	52	204	125	241	150
	男	-31	-68	-5	-30	23	91	18	106	83
	女	23	17	50	22	29	113	107	135	67

図2 男女別就業者数対前年同期増減数の推移



(2) 雇用者数の推移

就業者を従業上の地位別でみると、雇用者数は584万5千人となり、前年同期に比べ20万2千人(3.6%)増加した。

男女別にみると、男性は341万6千人、女性は242万9千人となり、前年同期に比べ、男性は11万7千人(3.5%)、女性は8万5千人(3.6%)、それぞれ増加した。

(表3、統計表第1表<P7>)

表3 雇用者数の推移

(単位 千人)

雇用者数		16年		17年				18年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	5666	5529	5520	5675	5643	5752	5722	5931	5845
	男	3317	3297	3318	3371	3299	3379	3363	3488	3416
	女	2349	2232	2202	2304	2344	2373	2360	2444	2429
対前年同期増減数	男女計	16	-40	18	11	-23	223	202	256	202
	男	-34	-61	-13	-4	-18	82	45	117	117
	女	50	20	31	15	-5	141	158	140	85

(3) 非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では、583万5千人となり、前年同期に比べ20万2千人(3.6%)増加した。従業者規模別でみると、「1~29人規模」は、前年同期に比べ10万3千人(5.7%)、「30~499人規模」は16万7千人(9.7%)、それぞれ増加したが「500人以上規模」は2万7千人(1.7%)、減少した。(表4)

表4 従業者規模別非農林業雇用者数 (単位 千人、%)

規 模	非農林業雇用者数			対 前 年 同 期					
	男女計	男	女	増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
*総 数	5 835	3 406	2 429	202	116	87	3.6	3.5	3.7
1~29人	1 923	1 106	818	103	51	54	5.7	4.8	7.1
30~499人	1 886	1 081	804	167	71	95	9.7	7.0	13.4
500人以上	1 609	981	628	- 27	14	- 40	-1.7	1.4	-6.0

* 総数には、官公・従業者規模不詳を含む。

(4) 主な産業別就業者数及び雇用者数

就業者数をみると、「建設業」「製造業」は前年同期に比べ減少したが、その他の産業は増加した。雇用者数をみると、前年同期に比べ「建設業」「製造業」「不動産業」は減少したが、その他の産業はいずれも増加した。(表5)

表5 主な産業別就業者数及び雇用者数 (単位 千人、%)

産 業	就 業 者			雇 用 者		
	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比
建 設 業	454	- 22	-4.6	377	- 12	-3.1
製 造 業	827	- 39	-4.5	750	- 44	-5.5
情 報 通 信 業	516	53	11.4	494	56	12.8
運 輸 業	350	22	6.7	316	28	9.7
卸 売・小 売 業	1 151	40	3.6	1 049	52	5.2
金 融・保 険 業	232	8	3.6	228	13	6.0
不 動 産 業	184	5	2.8	157	- 7	-4.3
飲食店,宿泊業	459	33	7.7	364	24	7.1
医 療, 福 祉	549	10	1.9	520	25	5.1
教 育, 学 習 支 援	294	8	2.8	269	9	3.5
サービス業(他に分類されないもの)	1 278	54	4.4	1 045	92	9.7

3 完全失業者

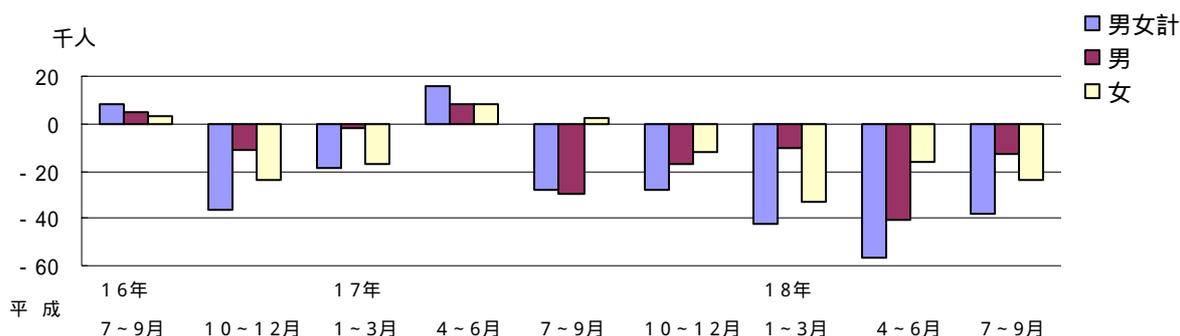
(1) 完全失業者数の推移

完全失業者数は27万人で、前年同期に比べ3万8千人(12.3%)減少した。男女別にみると、男性は前年同期に比べ1万3千人(7.4%)、女性は2万4千人(18.0%)それぞれ減少した。(表1、表6、図1、図3)

表6 男女別完全失業者数の推移 (単位千人)

完全失業者数		16年		17年				18年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実 数	男女計	336	325	334	340	308	297	292	283	270
	男	205	200	207	201	175	183	197	160	162
	女	131	126	128	139	133	114	95	123	109
対前年 同 期 増減数	男女計	8	- 36	- 19	16	- 28	- 28	-42	-57	-38
	男	5	-11	-2	8	-30	-17	-10	-41	-13
	女	3	-24	-17	8	2	-12	-33	-16	-24

図3 男女別完全失業者対前年同期増減数の推移



(2) 完全失業率

完全失業率は3.9%となり、前年同期に比べ0.6ポイント低下した。

「平成9年10~12月平均」以来8年と3期ぶりに4%を割った。

男女別にみると、男性は4.0%、女性は3.8%となり、前年同期に比べ男性は0.4ポイント、女性は1.0ポイント、それぞれ低下した。(表7、図1、統計表第2表<P8>)

表7 年齢階級別、男女別完全失業率

(単位 % ポイント)

区分	総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	
実数	男女計	3.9	6.5	5.4	3.3	2.7	3.0	3.0
	男	4.0	7.0	5.2	3.4	2.3	3.9	3.5
	女	3.8	6.1	5.7	2.9	3.4	1.7	2.1
対前年同期増減率	男女計	-0.6	0.0	-0.3	-0.6	-0.4	-2.0	0.6
	男	-0.4	1.4	-0.4	-0.3	-0.4	-1.5	0.6
	女	-1.0	-1.1	-0.2	-1.3	-0.2	-2.7	0.5

(3) 完全失業率の全国、南関東との比較

3期連続全国水準を下回り、今期は差が0.2ポイントになった。

全国の完全失業率は4.1%となり、前年同期に比べ0.2ポイント、南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は3.8%となり、前年同期に比べ0.4ポイント、それぞれ低下した。(統計表参考<P15>、図4)

